

グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（年2回決算型）  
〈愛称 グローバルMaaS（年2回決算型）〉

運用報告書（全体版）

第6期（決算日 2023年7月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（年2回決算型）」は、2023年7月20日に第6期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 商品分類   | 追加型投信／内外／株式   |   |
| 信託期間   | 2020年10月21日から2028年1月20日までです。  |   |
| 運用方針   | 主として、「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。  |   |
| 主要運用対象 | グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（年2回決算型）  | 「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。         |
|        | グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド   | 日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。         |
| 組入制限   | グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（年2回決算型）  | 株式への実質投資割合には、制限を設けません。<br>外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 |
|        | グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド   | 株式への投資割合には、制限を設けません。<br>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。     |
| 分配方針   | 毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 |   |

<645016>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決 算 期          | 基 準 価 額 |     |     | FactSet Global Mobility Index (配当込、円ベース) |      | 株 組 入 比 率 | 純 資 産 額 |
|----------------|---------|-----|-----|--|------|-----------|---------|
|                | (分配落)   | 税 分 | 込 配 | み 期                                      | 騰 落  |           |         |
|                | 円       | 円   | 円   | 騰  | 落    | %         | 百万円     |
| 2期(2021年7月20日) | 10,085  | 600 |     | △  | 0.4  | 135.52    | 7,589   |
| 3期(2022年1月20日) | 9,273   | 0   |     | △  | 8.1  | 146.98    | 5,931   |
| 4期(2022年7月20日) | 8,310   | 0   |     | △  | 10.4 | 142.68    | 5,061   |
| 5期(2023年1月20日) | 6,413   | 0   |     | △  | 22.8 | 131.88    | 3,806   |
| 6期(2023年7月20日) | 9,305   | 0   |     |  | 45.1 | 184.20    | 5,167   |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) FactSet Global Mobility Indexは、ファクトセット社が開発した世界のモビリティ製造およびサービス関連企業の株式で構成された指数です。主にモビリティ製造、小売およびサービス、旅客運送、貨物輸送及び物流、モビリティ拡張技術関連の企業を中心としています。なお、設定時を100として2023年7月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日               | 基 準 価 額 |      | FactSet Global Mobility Index (配当込、円ベース) |       | 株 組 入 比 率 |
|---------------------|---------|------|--|-------|-----------|
|                     | 騰       | 落    | (参考指数)                                   | 騰 落 率 |           |
|                     | 円       | %    |  | %     |           |
| (期 首)<br>2023年1月20日 | 6,413   | —    | 131.88                                   | —     | 98.2      |
| 1月末                 | 6,987   | 9.0  | 139.86                                   | 6.0   | 97.7      |
| 2月末                 | 7,408   | 15.5 | 149.27                                   | 13.2  | 98.1      |
| 3月末                 | 7,337   | 14.4 | 146.87                                   | 11.4  | 97.7      |
| 4月末                 | 6,879   | 7.3  | 145.69                                   | 10.5  | 98.4      |
| 5月末                 | 7,837   | 22.2 | 161.00                                   | 22.1  | 97.2      |
| 6月末                 | 9,205   | 43.5 | 181.32                                   | 37.5  | 98.4      |
| (期 末)<br>2023年7月20日 | 9,305   | 45.1 | 184.20                                   | 39.7  | 98.3      |

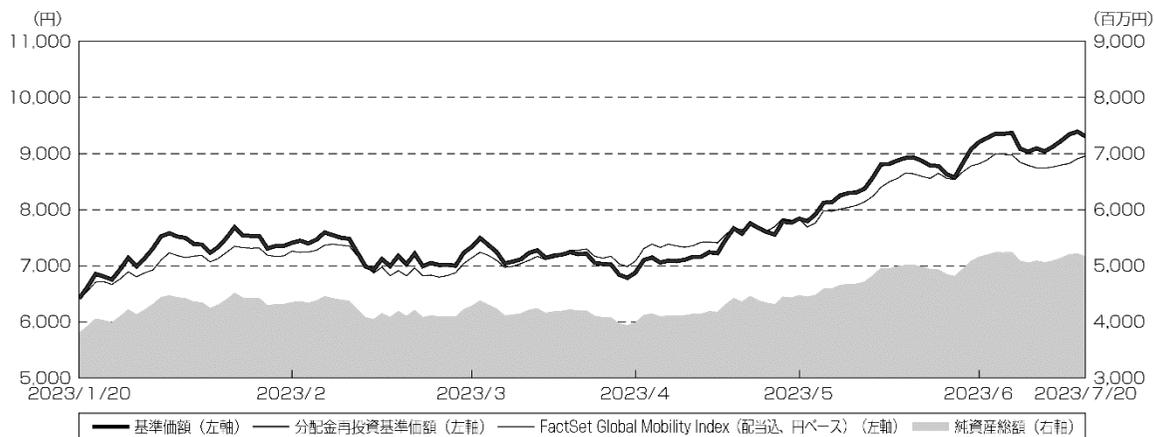
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

（2023年1月21日～2023年7月20日）

### 期中の基準価額等の推移



期首：6,413円  
 期末：9,305円（既払分配金（税込み）：0円）  
 騰落率：45.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額およびFactSet Global Mobility Index（配当込、円ベース）は、期首（2023年1月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）FactSet Global Mobility Index（配当込、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているモビリティ・サービス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

#### <値上がり要因>

- ・中国のゼロコロナ政策撤廃や米国の利上げペースの軟化期待などから主要株式市場が急伸したこと。
- ・金融不安の一時後退やテクノロジー株の買戻しが追い風となったこと。
- ・良好な企業決算動向や米国の債務上限の合意などを下支えに主要株式市場が2023年の年初来の高値圏まで反発したこと。
- ・米国の利上げ長期化観測や世界的な金利上昇などを背景にアメリカドルや主要通貨に対して円安が進み、

円ベース・リターンの押し上げ効果となったこと。

#### ＜値下がり要因＞

- ・主要中央銀行の利上げ圧力などから主要株式市場が下落したこと。
- ・インフレ軟化期待の後退や欧米の金融不安の拡大などから世界的な株安となったこと。
- ・米中対立懸念の再燃や、米国の地方銀行の信用不安、米国の債務上限を巡る問題などが市場の重しとなったこと。

## 投資環境

### （株式市況）

世界の主要株式市場は、期間の初めと比べて大きく上昇しました。

期間の初めから2023年2月初旬にかけては、中国のゼロコロナ政策転換を受けた経済再開期待や、米国の雇用統計や2022年12月の米国の消費者物価指数（CPI）が引き続きインフレ鈍化を示唆して長期金利が低下したことなどからセンチメント（市場心理）が改善しました。米国の利上げペースの軟化期待が高まるなかでテクノロジー株などのグロース（成長）株への買い戻しが続き、市場は2022年8月以来の高値圏まで上昇しました。

しかしその後、予想外の堅調ぶりを示した2023年1月の米国の雇用統計や欧米の予想を上回るインフレ率を受けてインフレ軟化期待が後退し、金利上昇や米中対立懸念なども悪材料となって市場は反落しました。米国の地方銀行や一部の欧州の銀行から端を発した金融システム危機懸念も悪材料に、3月中旬まで世界的な株安となりました。その後、各国当局の迅速な対応を受けて金融不安が後退すると、長期金利が低下するなかで買い戻されたテクノロジー株などを中心に反発して市場は4月にかけて下落分を取り戻す上昇となりました。

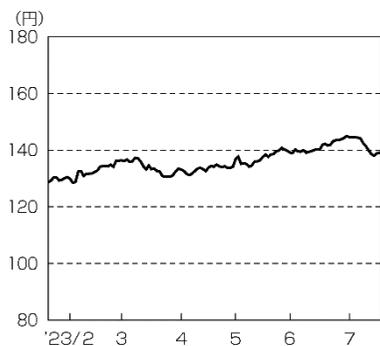
6月にかけては、米中対立懸念の再燃や、米国の地方銀行の信用不安の再燃と信用収縮による景気減速懸念、米国の債務上限交渉問題などが重しとなりつつも、良好な企業決算動向や米国の債務上限の合意なども下支えに、上値が重いながらも堅調に推移しました。7月に入ると、米国のインフレ率が市場予想を下回り、利上げ継続への警戒感が和らいだことなどから、主要株式市場は年初来の高値圏まで反発して期間末を迎えました。

為替市場では、期間の初めこそ日銀金融緩和策の転換観測や米国の利上げペースの軟化期待などから対アメリカドルや主要通貨で円高が進みましたが、その後は米国の利上げ長期化観測などを織り込んで円安基調に戻り、円ベース・リターンは押し上げられる格好となりました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）  
は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



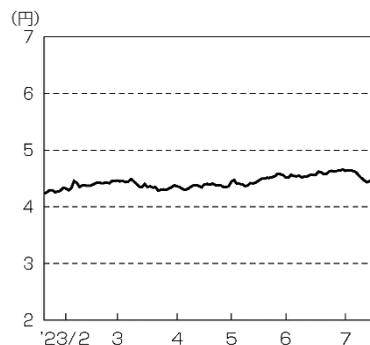
円／香港ドルの推移



円／ユーロの推移



円／新台湾ドルの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド）

期間中は、米国連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派的（インフレ抑制的）な発言が後退したとの見方が金融市場で広がるなか、当ファンドの基準価額は上昇しました。

個別銘柄では、電動垂直離着陸機（eVTOL）を開発し、独自のeVTOLサービスの運営を計画するジョビー・アビエーション（運輸）が、同社初の量産試作機が米国連邦航空局（FAA）の認証を受け、エアタクシーの飛行試験を開始できるようになったことが好感され、株価が上昇してプラス寄与上位となりました。

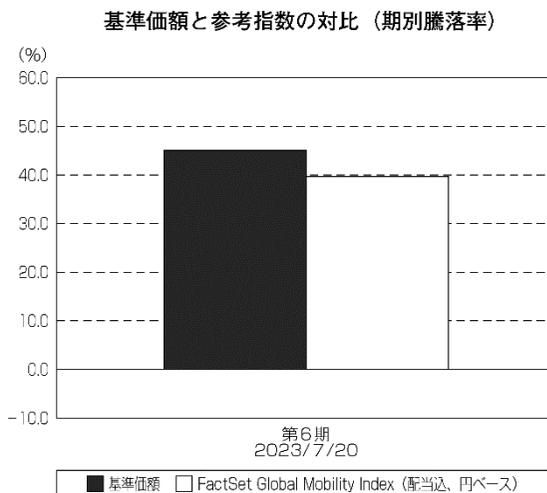
投資行動としては、プロトラブズ（資本財）を全売却しました。新経営陣の執行能力に対する懸念や、戦略実行面で3Dプリンティングよりも伝統的な技術に注力していることなどに鑑みて、2022年第4四半期決算が好調な内容となった機会を捉えて保有を解消しました。さらに、上海汽車集団および小鹏汽車（ともに自動車・自動車部品）も、全売却とし、テスラ（自動車・自動車部品）などの確信度がより高い銘柄の積み増しの原資としました。テスラが様々なモデルにわたって価格をさらに引き下げたことから、競合の利益率が下方圧力に晒されると予想しており、同社は値下げによって需要が拡大し、コストリーダーとしての立場が一層盤石になるとみえています。

一方、アドバンスト・マイクロ・デバイセズ（AMD）および台湾積体回路製造（ともに半導体・半導体製造装置）を、新規に購入しました。AI（人工知能）が追い風となり、産業用オートメーション分野をけん引する主要企業になることが見込まれます。AIの市場規模は今後5年間で大幅に拡大するとみえています。また、サポートレス造形機能を持ち合わせたパウダーベッドフュージョン（金属粉末を敷き詰め、熱源となるレーザーや電子ビームで造形する部分を溶融・凝固させる）方式に特化した3Dプリンティング企業であるVeio3D（資本財）も、自動車産業への参入を理由に、新規に購入しました。同社は、自動車およびツーリング産業で必要な大口径で高品質の内部チャンネルをプリントできる企業の1つであり、これによって顧客は製品コストをさらに削減することが可能となります。当ファンドでは、3Dプリンティングが既存製品に適用されることで大きな市場機会が生まれると予想しています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FactSet Global Mobility Index（配当込、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項 目       | 第6期                       |
|-----------|---------------------------|
|           | 2023年1月21日～<br>2023年7月20日 |
| 当期分配金     | —                         |
| （対基準価額比率） | —%                        |
| 当期の収益     | —                         |
| 当期の収益以外   | —                         |
| 翌期繰越分配対象額 | 29                        |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行いません。

（グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド）

ARK社では、自動運転による「サービスとしてのモビリティ（MaaS）」が今後5年～10年の公開株式市場における最も貴重な投資機会の1つとなりうるとみています。自動運転による「サービスとしてのモビリティ」は、自動運転のタクシー・プラットフォームにより2地点間の移動をより安く、より便利に、より安全なものとする個人的なMaaSから、自動運転の電気トラックとドローンにより、現在に比べてごくわずかなコストで納品できる「サービスとしての物流」にまで及びます。このようなプラットフォームから経済的生産性の変革促進が加速し、その結果として、伝統的な自動車産業は当該プラットフォームに組み込まれていくものとみられます。技術主導によるイノベーションと費用曲線の低下に伴う一定のデフレ圧力によって、自動運転による「サービスとしてのモビリティ」のプラットフォームを開発または可能にする企業については、売上数量の伸び、生産性、収益性が高まると考えられます。対照的に、従来型自動車製造企業の多くは、実店舗型小売企業が過去10年間に経験したことと同様のバリュートラップ（株価が割安なまま放置されること）に陥るものと考えられます。当ファンドでは、自動運転MaaSプラットフォームへの転換を遂げられる自動車企業とテクノロジー企業に投資して、その恩恵を享受できるよう努めていきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくご依頼申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年1月21日～2023年7月20日）

| 項 目   | 当 期                                   |   | 項 目 の 概 要  |
|---|---------------------------------------|---|--|
|   | 金 額                                   | 比 率   |  |
| (a) 信 託 報 酬<br>( 投 信 会 社 )<br>( 販 売 会 社 )<br>( 受 託 会 社 )                  | 73<br>(35)<br>(35)<br>( 2 )           | 0.955<br>(0.464)<br>(0.464)<br>(0.027)            | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br><br>委託した資金の運用の対価<br><br>運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価<br><br>運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価  |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料<br>( 株 式 )  | 3<br>( 3 )                            | 0.039<br>(0.039)                                  | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料  |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税<br>( 株 式 )  | 0<br>( 0 )                            | 0.002<br>(0.002)                                  | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金   |
| (d) そ の 他 費 用<br>( 保 管 費 用 )<br>( 監 査 費 用 )<br>( 印 刷 費 用 等 )<br>( そ の 他 ) | 4<br>( 1 )<br>( 0 )<br>( 3 )<br>( 0 ) | 0.046<br>(0.010)<br>(0.002)<br>(0.035)<br>(0.000) | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数<br><br>保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用<br><br>監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用<br><br>印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など<br><br>その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計   | 80                                    | 1.042   |  |
| 期中の平均基準価額は、7,608円です。  |                                       |   |  |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

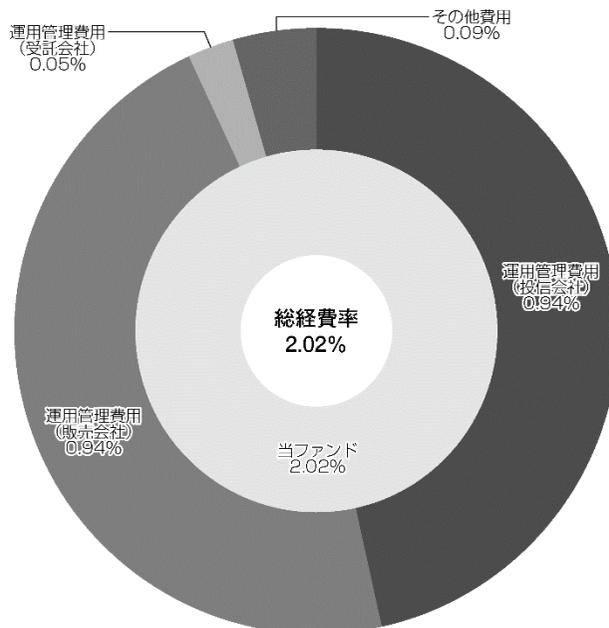
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.02%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2023年1月21日～2023年7月20日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄                       | 設 定    |        | 解 約     |         |
|---------------------------|--------|--------|---------|---------|
|                           | 口 数    | 金 額    | 口 数     | 金 額     |
|                           | 千口     | 千円     | 千口      | 千円      |
| グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド | 10,527 | 19,987 | 215,851 | 373,878 |

## ○株式売買比率

（2023年1月21日～2023年7月20日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期                       |  |
|---------------------|---------------------------|--|
|                     | グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド |  |
| (a) 期中の株式売買金額       | 26,468,710千円              |  |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 58,825,825千円              |  |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.44                      |  |

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注）外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

（2023年1月21日～2023年7月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2023年1月21日～2023年7月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2023年1月21日～2023年7月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年7月20日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄                       | 期首(前期末)   | 当 期 末     |           |
|---------------------------|-----------|-----------|-----------|
|                           | 口 数       | 口 数       | 評 価 額     |
|                           | 千口        | 千口        | 千円        |
| グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド | 2,687,626 | 2,482,302 | 5,093,436 |

(注) 親投資信託の2023年7月20日現在の受益権総口数は、33,183,839千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年7月20日現在)

| 項 目                       | 当 期 末     |       |
|---------------------------|-----------|-------|
|                           | 評 価 額     | 比 率   |
|                           | 千円        | %     |
| グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド | 5,093,436 | 97.4  |
| コール・ローン等、その他              | 135,262   | 2.6   |
| 投資信託財産総額                  | 5,228,698 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（66,031,920千円）の投資信託財産総額（68,279,453千円）に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=139.70円、1ユーロ=156.73円、1香港ドル=17.89円、1新台幣ドル=4.4914円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年7月20日現在）

| 項 目                            | 当 期 末          |
|--------------------------------|----------------|
|                                | 円              |
| (A) 資産                         | 5,228,698,155  |
| コール・ローン等                       | 118,265,594    |
| グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド(評価額) | 5,093,436,259  |
| 未収入金                           | 16,996,302     |
| (B) 負債                         | 61,663,891     |
| 未払解約金                          | 17,879,468     |
| 未払信託報酬                         | 42,156,960     |
| 未払利息                           | 212            |
| その他未払費用                        | 1,627,251      |
| (C) 純資産総額(A-B)                 | 5,167,034,264  |
| 元本                             | 5,552,795,318  |
| 次期繰越損益金                        | △ 385,761,054  |
| (D) 受益権総口数                     | 5,552,795,318口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D)                | 9,305円         |

(注) 当ファンドの期首元本額は5,934,724,278円、期中追加設定元本額は132,503,841円、期中一部解約元本額は514,432,801円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9305円です。

(注) 2023年7月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は385,761,054円です。

○損益の状況（2023年1月21日～2023年7月20日）

| 項 目              | 当 期            |
|------------------|----------------|
|                  | 円              |
| (A) 配当等収益        | △ 13,530       |
| 受取利息             | 44             |
| 支払利息             | △ 13,574       |
| (B) 有価証券売買損益     | 1,627,310,949  |
| 売買益              | 1,701,679,755  |
| 売買損              | △ 74,368,806   |
| (C) 信託報酬等        | △ 43,784,229   |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 1,583,513,190  |
| (E) 前期繰越損益金      | △2,096,156,520 |
| (F) 追加信託差損益金     | 126,882,276    |
| (配当等相当額)         | ( 523,285)     |
| (売買損益相当額)        | ( 126,358,991) |
| (G) 計(D+E+F)     | △ 385,761,054  |
| (H) 収益分配金        | 0              |
| 次期繰越損益金(G+H)     | △ 385,761,054  |
| 追加信託差損益金         | 126,882,276    |
| (配当等相当額)         | ( 576,789)     |
| (売買損益相当額)        | ( 126,305,487) |
| 分配準備積立金          | 15,553,622     |
| 繰越損益金            | △ 528,196,952  |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2023年1月21日～2023年7月20日の期間に当ファンドが負担した費用は12,950,028円です。

(注) 分配金の計算過程（2023年1月21日～2023年7月20日）は以下の通りです。

| 項 目                          | 2023年1月21日～<br>2023年7月20日 |
|------------------------------|---------------------------|
| a. 配当等収益(経費控除後)              | 15,553,622円               |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 0円                        |
| c. 信託約款に定める収益調整金             | 576,789円                  |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金           | 0円                        |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d)           | 16,130,411円               |
| f. 分配対象収益(1万口当たり)            | 29円                       |
| g. 分配金                       | 0円                        |

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○分配金のお知らせ

---

|                 |    |
|-----------------|----|
| 1 万口当たり分配金（税込み） | 0円 |
|-----------------|----|

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2023年1月21日から2023年7月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

# グローバル・モビリティ・サービス株式マザーファンド

## 運用報告書

第5期（決算日 2023年1月20日）  
（2022年1月21日～2023年1月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |  |
|--------|--|
| 信託期間   | 2018年1月31日から原則無期限です。                                       |
| 運用方針   | 主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要運用対象 | 日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。                |
| 組入制限   | 株式への投資割合には、制限を設けません。<br>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。            |

### フ ァ ン ド 概 要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているモビリティ・サービス関連企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

| 決算期            | 基準価額   |       | FactSet Global Mobility Index (配当込、円ベース) |       | 株組入比率 | 純資産額   |
|----------------|--------|-------|--|-------|-------|--------|
|                | 期騰落    | 中率    | (参考指数)                                   | 期騰落中率 |       |        |
| (設定日)          | 円      | %     |  | %     | %     | 百万円    |
| 2018年1月31日     | 10,000 | —     | 100.00                                   | —     | —     | 97     |
| 1期(2019年1月21日) | 8,395  | △16.1 | 86.63                                    | △13.4 | 99.9  | 61,070 |
| 2期(2020年1月20日) | 10,946 | 30.4  | 99.50                                    | 14.9  | 98.8  | 54,193 |
| 3期(2021年1月20日) | 21,521 | 96.6  | 125.38                                   | 26.0  | 101.1 | 68,611 |
| 4期(2022年1月20日) | 19,870 | △7.7  | 150.50                                   | 20.0  | 99.7  | 75,898 |
| 5期(2023年1月20日) | 13,935 | △29.9 | 135.05                                   | △10.3 | 99.8  | 50,652 |

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) FactSet Global Mobility Indexは、ファクトセット社が開発した世界のモビリティ製造およびサービス関連企業の株式で構成された指数です。主にモビリティ製造、小売およびサービス、旅客運送、貨物輸送及び物流、モビリティ拡張技術関連の企業を中心としています。なお、設定時を100として2023年1月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日               | 基 準 価 額     | FactSet Global Mobility Index (配当込、円ベース) |        | 株 組 入 比 式 率 |
|---------------------|-------------|--|--------|-------------|
|                     |             | 騰 落 率 (参考指数)                             | 騰 落 率  |             |
| (期 首)<br>2022年1月20日 | 円<br>19,870 | %<br>-                                   | %<br>- | %<br>99.7   |
| 1月末                 | 18,079      | △ 9.0                                    | △ 5.1  | 99.3        |
| 2月末                 | 18,449      | △ 7.2                                    | △ 5.5  | 99.8        |
| 3月末                 | 20,700      | 4.2                                      | 1.1    | 99.3        |
| 4月末                 | 18,218      | △ 8.3                                    | △ 5.3  | 99.4        |
| 5月末                 | 17,742      | △10.7                                    | △ 6.3  | 99.7        |
| 6月末                 | 17,318      | △12.8                                    | △ 7.0  | 99.6        |
| 7月末                 | 18,242      | △ 8.2                                    | △ 2.9  | 99.6        |
| 8月末                 | 17,827      | △10.3                                    | △ 0.8  | 99.6        |
| 9月末                 | 16,086      | △19.0                                    | △ 7.8  | 99.7        |
| 10月末                | 16,713      | △15.9                                    | △ 1.0  | 99.7        |
| 11月末                | 15,018      | △24.4                                    | △ 3.5  | 99.6        |
| 12月末                | 13,585      | △31.6                                    | △12.9  | 99.5        |
| (期 末)<br>2023年1月20日 | 13,935      | △29.9                                    | △10.3  | 99.8        |

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2022年1月21日～2023年1月20日)

## 基準価額の推移

期間の初め19,870円の基準価額は、期間末に13,935円となり、騰落率は△29.9%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・主要中央銀行による政策金利の引き上げペースの鈍化への期待や、概ね堅調となった欧米の主要企業の決算などを受けて、株式市場が上昇したこと（2022年10月上旬～期間末）。
- ・主要投資対象通貨であるアメリカドルが対円で上昇したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

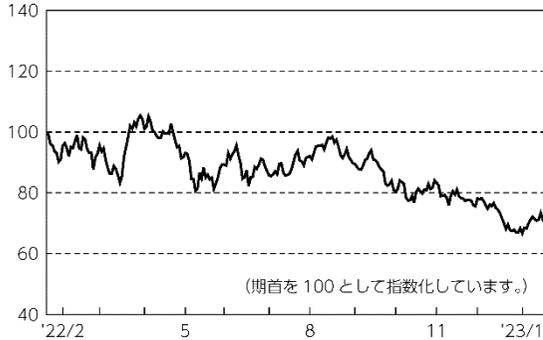
- ・世界の主要中央銀行が政策金利を引き上げたこと。
- ・米国やユーロ圏の市場予想を下回る景況感に関する指標を背景に、景気後退の可能性が懸念されたこと。
- ・ポートフォリオで保有するテスラなどの株価が値下がりしたこと。

基準価額の推移

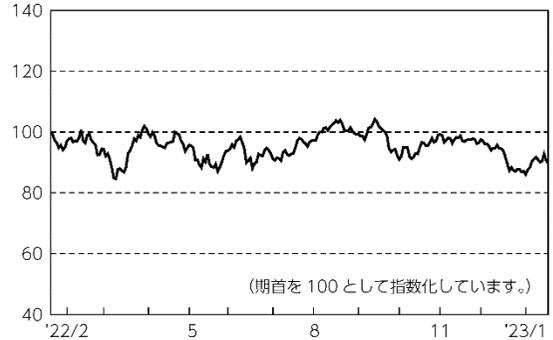


| 期首         | 期中高値    | 期中安値    | 期末      |
|------------|---------|---------|---------|
| 2022/01/20 | 20,942円 | 13,248円 | 13,935円 |

基準価額（指数化）の推移



FactSet Global Mobility Index（配当込、円ベース）（指数化）の推移

**（株式市況）**

海外株式市場では、期間の初めと比べて、米国や欧州各国などの株価は概して下落しました。

期間の初めから2022年9月下旬にかけては、欧米の主要企業の堅調な業績や、米国の消費者物価指数（CPI）や生産者物価指数（PPI）が市場予想を下回りインフレのピークアウトの期待などが株価の支援材料となったものの、欧米の主要中央銀行による金融引き締め加速や、米国やユーロ圏の市場予想を下回る景況感に関する指標を背景に景気後退の可能性が懸念されたことや、欧米の長期金利の上昇によってIT関連銘柄などの高PER（株価収益率）銘柄の相対的な割高感が意識されたこと、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの制裁措置の発表や拡大決定などから投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、中国における新型コロナウイルスの感染拡大を受けた上海などの都市封鎖により景気の不透明感が高まったことなどから、米国や欧州各国などの株価は総じて下落しました。

10月上旬から期間末にかけては、米国連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）が政策金利を引き上げたことや、米国の低調な経済指標や主要中央銀行の金融引き締めの長期化を受けて景気の先行き悪化が懸念されたことなどが株価の重しとなったものの、原油価格や天然ガス価格の下落に加えて、市場予想を下回る米国やユーロ圏のインフレ指標から物価上昇圧力が緩和し、主要中央銀行による政策金利の引き上げペースの鈍化への期待が高まったことや、欧米の主要企業の決算が概ね堅調となったことなどが株価の支援材料となり、米国や欧州各国などの株価は総じて上昇しました。

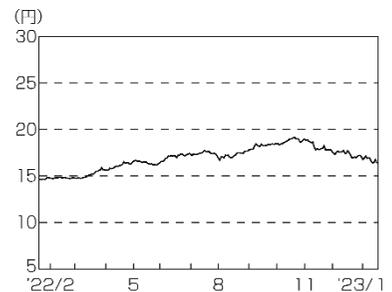
(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



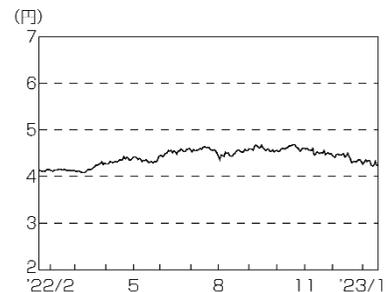
円／香港ドルの推移



円／ユーロの推移



円／新台湾ドルの推移



## ポートフォリオ

株式市場の下落とともに成長銘柄全般に対する投資家の見送り姿勢が総じて続くなか、期間中のファンドのパフォーマンスはマイナスとなりました。ファンドのパフォーマンスに対しては、テスラなどの保有がマイナス要因となりました。テスラは、航続距離、性能、安全性、そして重要な点として技術、特に完全自動運転(FSD)の実現に注力しており、電気自動車(EV)の分野で依然として同業他社に大きな差をつけています。ARK社では、優れたドライブレイン(駆動列)効率と垂直統合により、コスト削減で業界をリードすることができるかとみており、同社のビジネスモデルへの確信を有しています。

主な投資行動としては、確信度が後退したことによりパラソル・テクノロジーのポジションを解消しました。ARK社では、政府関連の売上の伸びが引き続き減速していることを懸念しており、競争の激化が政府関連事業セクターの成長にとっての更なる妨げをもたらす可能性があると考えています。また、パイドゥおよびフォルクスワーゲンを売却して、より確信度の高い銘柄への入替えを実施しました。TuSimple Holdingsについては、創業者であるCEOの解任の報道などを受けて全売却を行いませんでした。この報道に加えて、米国の大手経済紙によると、同社は中国の新興企業との関係を巡って、米国連邦捜査局(FBI)や米国証券取引委員会(SEC)などの調査を受けているとのことでした。米国当局の調査対象となったことで、同社とのビジネスを回避する事業パートナーや顧客が増えると考えられます。

一方、ゼネラル・モーターズや、ニオ、エヌビディアなどを新規に取得しました。ゼネラル・モーターズは、

ソフトバンクグループが保有するクルーズの株式を取得しました。クルーズは米国で完全な自律走行による乗り物を提供しています。ARK社では、自律運転の機会は非常に大きく、ゼネラル・モーターズはその役割を果たすことができると考えています。中国のEV・部品企業で、世界中でバッテリー充電サービスも提供しているニオは、中国が最大のEV市場になるとみられるとともに、バッテリー・コストの低下を受けてEVの普及が進んでいることから、同社がEV分野のリーディング企業になると考えています。半導体製造企業のエヌビディアについて、ARK社では、同社のグラフィックス・プロセッシング・ユニット（GPU）が深層学習のトレーニングとアプリケーションの処理に不可欠となり、同社がメタバースアプリケーション、自律走行、人工一般知能を可能とする企業になると考え、高い確信を持ち続けています。以前は、他の投資機会と比較してバリュエーション（株価評価）が当企業をポートフォリオに加えることを妨げていましたが、株価の調整局面をとらえてポートフォリオに組み入れました。

## ○今後の運用方針

---

ARK社では、自動運転による「サービスとしてのモビリティ（MaaS）」が今後5年～10年の公開株式市場における最も貴重な投資機会の1つとなりうるとみています。自動運転による「サービスとしてのモビリティ」は、自動運転のタクシー・プラットフォームにより2地点間の移動をより安く、より便利に、より安全なものとする個人的なMaaSから、自動運転の電気トラックとドローンにより、現在に比べてごくわずかなコストで納品できる「サービスとしての物流」にまで及びます。このようなプラットフォームから経済的生産性の変革促進が加速し、その結果として、伝統的な自動車産業は当該プラットフォームに組み込まれていくものとみられます。技術主導によるイノベーションと費用曲線の低下に伴う一定のデフレ圧力によって、自動運転による「サービスとしてのモビリティ」のプラットフォームを開発または可能にする企業については、売上数量の伸び、生産性、収益性が高まると考えられます。対照的に、従来型自動車製造企業の多くは、実店舗型小売企業が過去10年間に経験したと同様のバリュートラップ（株価が割安なまま放置されること）に陥るものと考えられます。当ファンドでは、自動運転MaaSプラットフォームへの転換を遂げられる自動車企業とテクノロジー企業に投資して、その恩恵を享受できるよう努めていきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 1 月 21 日～2023年 1 月 20 日)

| 項 目                                       | 当 期                 |                             | 項 目 の 概 要  |
|---|---------------------|-----------------------------|--|
|   | 金 額                 | 比 率                         |  |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料<br>( 株 式 )              | 円<br>8<br>( 8 )     | %<br>0.044<br>(0.044)       | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料  |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税<br>( 株 式 )              | 1<br>( 1 )          | 0.007<br>(0.007)            | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金   |
| (c) そ の 他 費 用<br>( 保 管 費 用 )<br>( そ の 他 ) | 6<br>( 5 )<br>( 1 ) | 0.033<br>(0.027)<br>(0.005) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数<br>保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用<br>その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計                                       | 15                  | 0.084                       |  |
| 期中の平均基準価額は、17,331円です。                     |                     |                             |  |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年1月21日～2023年1月20日)

## 株式

|     |         | 買 付                      |                               | 売 付          |                        |
|-----|---------|--------------------------|-------------------------------|--------------|------------------------|
|     |         | 株 数                      | 金 額                           | 株 数          | 金 額                    |
| 国内  | 上場      | 千株<br>30                 | 千円<br>88,364                  | 千株<br>404    | 千円<br>1,177,036        |
|     | アメリカ    | 百株<br>73,124<br>( 3,418) | 千アメリカドル<br>166,889<br>(△ 257) | 百株<br>69,707 | 千アメリカドル<br>151,574     |
| 外 国 | ユーロ     |                          | 千ユーロ                          |              | 千ユーロ                   |
|     | ドイツ     | —                        | —                             | 494          | 8,905                  |
|     | フランス    | 252                      | 1,068                         | 399          | 1,528                  |
| 国   | 香港      | 4,211                    | 千香港ドル<br>51,765               | 24,305       | 千香港ドル<br>89,694        |
|     | 台湾      | 2,700                    | 千新台幣ドル<br>28,483              | —            | 千新台幣ドル<br>—            |
|     | 中国オフショア | —                        | 千香港・オフショア人民元<br>—             | 18,137       | 千香港・オフショア人民元<br>31,431 |

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2022年1月21日～2023年1月20日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期          |
|---------------------|--------------|
| (a) 期中の株式売買金額       | 47,317,462千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 66,072,986千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.71         |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年1月21日～2023年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年1月21日～2023年1月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2023年1月20日現在)

## 国内株式

| 銘           | 柄             | 期首(前期末)   | 当 期 末   |           |
|-------------|---------------|-----------|---------|-----------|
|             |               | 株 数       | 株 数     | 評 価 額     |
|             |               | 千株        | 千株      | 千円        |
| 機械 (100.0%) |               |           |         |           |
| 小松製作所       |               | 1,105.992 | 731.592 | 2,178,315 |
| 合 計         | 株 数 ・ 金 額     | 1,105     | 731     | 2,178,315 |
|             | 銘 柄 数 < 比 率 > | 1         | 1       | < 4.3% >  |

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 外国株式

| 銘柄                          | 期首(前期末)      |        | 当 期 末   |           | 業 種 等              |            |
|-----------------------------|--------------|--------|---------|-----------|--------------------|------------|
|                             | 株 数          | 株 数    | 評 価 額   |           |                    |            |
|                             |              |        | 外貨建金額   | 邦貨換算金額    |                    |            |
| (アメリカ)                      | 百株           | 百株     | 千アメリカドル | 千円        |                    |            |
| ARCHER AVIATION INC         | 18,457       | 21,487 | 5,973   | 768,856   | 資本財                |            |
| CATERPILLAR INC             | 474          | 351    | 8,626   | 1,110,356 | 資本財                |            |
| DEERE & CO                  | 564          | 430    | 17,583  | 2,263,144 | 資本財                |            |
| APTIV PLC                   | 695          | 657    | 6,650   | 856,045   | 自動車・自動車部品          |            |
| DOMINO'S PIZZA INC          | 169          | 162    | 5,659   | 728,375   | 消費者サービス            |            |
| GENERAL MOTORS CORP         | —            | 2,296  | 8,206   | 1,056,291 | 自動車・自動車部品          |            |
| MAGNA INTERNATIONAL INC     | 2,506        | 1,926  | 12,157  | 1,564,764 | 自動車・自動車部品          |            |
| MARKFORGED HOLDING CORP     | 33,424       | 44,147 | 5,474   | 704,590   | 資本財                |            |
| PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A | 5,574        | —      | —       | —         | ソフトウェア・サービス        |            |
| PROTO LABS INC              | 1,446        | 1,380  | 3,753   | 483,140   | 資本財                |            |
| JOBY AVIATION INC           | 13,191       | 13,885 | 5,484   | 705,951   | 運輸                 |            |
| SPOTIFY TECHNOLOGY SA       | 786          | 583    | 5,455   | 702,241   | メディア・娯楽            |            |
| TERADYNE INC                | 693          | 2,196  | 20,616  | 2,653,513 | 半導体・半導体製造装置        |            |
| UIPATH INC - CLASS A        | 10,604       | 17,200 | 23,324  | 3,002,046 | ソフトウェア・サービス        |            |
| UNITY SOFTWARE INC          | 2,334        | 2,394  | 6,921   | 890,809   | ソフトウェア・サービス        |            |
| XPENG INC - ADR             | 2,766        | 3,620  | 3,240   | 417,050   | 自動車・自動車部品          |            |
| AEROVIRONMENT INC           | 3,159        | 2,139  | 17,581  | 2,262,968 | 資本財                |            |
| AMAZON.COM INC              | 45           | 770    | 7,215   | 928,696   | 小売                 |            |
| ANSYS INC                   | 207          | 197    | 4,897   | 630,351   | ソフトウェア・サービス        |            |
| APPLE INC                   | 420          | 331    | 4,489   | 577,823   | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 |            |
| BAIDU INC - SPON ADR        | 519          | —      | —       | —         | メディア・娯楽            |            |
| ELBIT SYSTEMS LTD           | 389          | 277    | 4,709   | 606,099   | 資本財                |            |
| BLADE AIR MOBILITY INC      | 23,504       | 22,999 | 10,096  | 1,299,561 | 運輸                 |            |
| GARMIN LTD                  | 960          | 747    | 7,127   | 917,395   | 耐久消費財・アパレル         |            |
| ALPHABET INC-CL C           | 79           | 1,499  | 14,081  | 1,812,469 | メディア・娯楽            |            |
| KRATOS DEFENSE & SECURITY   | 20,224       | 22,244 | 23,312  | 3,000,573 | 資本財                |            |
| NETFLIX INC                 | 96           | —      | —       | —         | メディア・娯楽            |            |
| NIU TECHNOLOGIES-SPONS ADR  | 12,957       | 3,802  | 1,783   | 229,531   | 自動車・自動車部品          |            |
| NVIDIA CORP                 | —            | 556    | 9,337   | 1,201,821 | 半導体・半導体製造装置        |            |
| NXP SEMICONDUCTORS NV       | 387          | 367    | 6,071   | 781,442   | 半導体・半導体製造装置        |            |
| AURORA INNOVATION INC       | 16,427       | 26,530 | 3,448   | 443,915   | 商業・専門サービス          |            |
| SYNOPSYS INC                | 220          | 208    | 6,915   | 890,132   | ソフトウェア・サービス        |            |
| TESLA INC                   | 612          | 2,672  | 33,986  | 4,374,443 | 自動車・自動車部品          |            |
| TRIMBLE INC                 | 7,212        | 6,471  | 35,074  | 4,514,501 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 |            |
| TUSIMPLE HOLDINGS INC - A   | 6,780        | —      | —       | —         | 運輸                 |            |
| HON HAI PRECISION-GDR REG S | 10,625       | 819    | 531     | 68,368    | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 |            |
| 小 計                         | 株 数          | 金 額    | 198,522 | 205,358   | 329,790            | 42,447,274 |
|                             | 銘柄 数 < 比 率 > |        | 34      | 32        | —                  | < 83.8% >  |
| (ユーロ…ドイツ)                   |              |        |         |           | 千ユーロ               |            |
| VOLKSWAGEN AG-PFD           | 494          | —      | —       | —         | —                  | 自動車・自動車部品  |
| 小 計                         | 株 数          | 金 額    | 494     | —         | —                  | —          |
|                             | 銘柄 数 < 比 率 > |        | 1       | —         | —                  | < -% >     |
| (ユーロ…フランス)                  |              |        |         |           |                    |            |
| DASSAULT SYSTEMES SE        | 3,563        | 3,416  | 11,902  | 1,658,787 | ソフトウェア・サービス        |            |
| 小 計                         | 株 数          | 金 額    | 3,563   | 3,416     | 11,902             | 1,658,787  |
|                             | 銘柄 数 < 比 率 > |        | 1       | 1         | —                  | < 3.3% >   |
| ユ ー ロ 計                     | 株 数          | 金 額    | 4,058   | 3,416     | 11,902             | 1,658,787  |
|                             | 銘柄 数 < 比 率 > |        | 2       | 1         | —                  | < 3.3% >   |

| 銘柄                           | 株数      | 当期      |             | 業種等       |                    |
|------------------------------|---------|---------|-------------|-----------|--------------------|
|                              |         | 株数      | 評価額         |           |                    |
| (香港)                         | 百株      | 百株      | 千円          |           |                    |
| BYD CO LTD-H                 | 2,134   | 2,419   | 54,819      | 自動車・自動車部品 |                    |
| GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LT | 6,810   | —       | —           | 自動車・自動車部品 |                    |
| JD LOGISTICS INC             | 75,778  | 62,209  | 99,162      | 運輸        |                    |
| 小計                           | 株数・金額   | 84,723  | 64,629      | 153,982   | 2,529,927          |
|                              | 銘柄数<比率> | 3       | 2           | —         | <5.0%>             |
| (台湾)                         |         |         | 千新台幣ドル      |           |                    |
| HON HAI PRECISION INDUSTRY   | 34,070  | 36,770  | 360,713     | 1,527,586 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 |
| 小計                           | 株数・金額   | 34,070  | 36,770      | 360,713   | 1,527,586          |
|                              | 銘柄数<比率> | 1       | 1           | —         | <3.0%>             |
| (中国オフショア)                    |         |         | 千港・オフショア人民元 |           |                    |
| SAIC MOTOR CORP LTD-A        | 25,998  | 7,861   | 11,594      | 220,255   | 自動車・自動車部品          |
| 小計                           | 株数・金額   | 25,998  | 7,861       | 11,594    | 220,255            |
|                              | 銘柄数<比率> | 1       | 1           | —         | <0.4%>             |
| 合計                           | 株数・金額   | 347,371 | 318,035     | —         | 48,383,831         |
|                              | 銘柄数<比率> | 41      | 37          | —         | <95.5%>            |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2023年1月20日現在)

| 項目           | 期末         |       |
|--------------|------------|-------|
|              | 評価額        | 比率    |
| 株式           | 千円         | %     |
|              | 50,562,146 | 99.4  |
| コール・ローン等、その他 | 321,294    | 0.6   |
| 投資信託財産総額     | 50,883,440 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(48,605,422千円)の投資信託財産総額(50,883,440千円)に対する比率は95.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=128.71円、1ユーロ=139.37円、1香港ドル=16.43円、1新台幣ドル=4.2349円、1香港・オフショア人民元=18.9958円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月20日現在)

| 項 目             | 当 期 末           | 円 |
|-----------------|-----------------|---|
| (A) 資産          | 51,082,464,666  |   |
| コール・ローン等        | 264,739,131     |   |
| 株式(評価額)         | 50,562,146,529  |   |
| 未収入金            | 244,309,030     |   |
| 未収配当金           | 11,269,976      |   |
| (B) 負債          | 430,442,381     |   |
| 未払金             | 257,654,410     |   |
| 未払解約金           | 172,787,961     |   |
| 未払利息            | 10              |   |
| (C) 純資産総額(A-B)  | 50,652,022,285  |   |
| 元本              | 36,348,321,133  |   |
| 次期繰越損益金         | 14,303,701,152  |   |
| (D) 受益権総口数      | 36,348,321,133口 |   |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 13,935円         |   |

(注) 当ファンドの期首元本額は38,197,608,106円、期中追加設定元本額は3,191,018,002円、期中一部解約元本額は5,040,304,975円です。

(注) 2023年1月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(1年決算型) 29,539,449,038円
- ・Nikkoam FOFs用グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(適格機関投資家向け) 2,788,953,939円
- ・グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(年2回決算型) 2,687,626,318円
- ・グローバル・イノベーション株式ファンド(適格機関投資家向け) 1,332,291,838円

(注) 1口当たり純資産額は1.3935円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2022年1月21日から2023年1月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

## ○損益の状況 (2022年1月21日～2023年1月20日)

| 項 目              | 当 期             | 円 |
|------------------|-----------------|---|
| (A) 配当等収益        | 358,299,746     |   |
| 受取配当金            | 358,456,181     |   |
| 受取利息             | 85              |   |
| 支払利息             | △ 156,520       |   |
| (B) 有価証券売買損益     | △23,310,055,915 |   |
| 売買益              | 10,972,695,351  |   |
| 売買損              | △34,282,751,266 |   |
| (C) 保管費用等        | △ 20,970,329    |   |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △22,972,726,498 |   |
| (E) 前期繰越損益金      | 37,700,444,344  |   |
| (F) 追加信託差損益金     | 3,025,746,622   |   |
| (G) 解約差損益金       | △ 3,449,763,316 |   |
| (H) 計(D+E+F+G)   | 14,303,701,152  |   |
| 次期繰越損益金(H)       | 14,303,701,152  |   |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。